# OO薬局のBCP(業務継続計画)

# 【記載例】

#### 様式 I 業務継続の基本方針

## ○○薬局の基本方針

- ① 従業員及びお客様の安全確保を最優先する。
- ② 医薬品等の安定供給(営業の早期開始)を図る。
- ③ 地域の医療救護活動に参加する。
- ④ 従業員の雇用確保と地域貢献に努める。

## 様式Ⅱ 被害の状況等の想定

種類:次の①、②を想定し、それぞれ作成してください。

①南海トラフ巨大地震:被害想定1参照

②徳島県中央構造線·活断層地震:被害想定2参照

※詳細については、「徳島県防災・危機管理情報安心とくしま」ホームページ 「災害・防災」→「地震・津波」を参照してください。

1 薬局の周辺 ※被害状況は、薬局の所在地により、適宜修正してください。

		被害状況	(利用の可否)		
対象項		6時間	24時間	3日	7日
71 % 49	電 気	X X	X	×	0
	上水道	×	×	×	×
	ガス	×	×	×	×
ライフライン	電話(携帯)	×	×	0	0
	インターネット	×	×	0	0
	FAX・固定電話	×	×	0	0
	下水道	×	×	×	×
道路	通行状況	×	×	Δ	0
鉄道	運行状況	×	×	×	×
バス	運行状況	×	×	×	×
通常処方せんを	A病院	×	0	0	0
応需している	B診療所	×	×	0	0
医療機関の	cクリニック	×	×	×	0
診療状況					
その他特記事項	<ul><li>津波による被</li></ul>	害軽微			
	・計画停電無し				

#### 2 薬局の被害状況

対		被害状況等				
建 物 外	 、	ひび割れ・亀裂有り。業務継続可能。				
建物(天井	-、窓、壁等)	窓割れ、壁の亀裂有り。業務継続可能。				
ライフライン(水)	道、トイレ、ガス、電気)	震災後全て停止				
調剤設	t 備	・薬局内の物品等は散乱。損傷は少ない。				
		・整理後、稼働の可否を確認する。				
医薬品•	薬局内保管分	使用可能(備蓄 3日分)				
資機材	調達の見通し	卸売販売業者の再開予定は、不明				
	従業員等の被害	軽微な外傷が1名のみ				
人員	従業員の参集	参集可能な者から集合してもらう。				
	応援の見通し	なし				
	お客様の被害	不明				
お客様	利用の見通し	地域の被災状況は中程度のため、医療機関の再開に合わ				
		せて、利用が予想される。				
その他・	特記事項	特になし				

## 3 従業員等の参集状況 (営業時間外)

			自宅から		発災後経過時間			
氏	名	職種	の距離(km)	備考	6 時間	24時間	3日	7日
徳島	太郎	薬・管理	0(自宅)		0	0	0	0
阿波	藍子	薬・常勤	2	保育園児有り	×	×	×	×
海部	夏夫	薬・常勤	1 0		×	0	0	0
吉野川	l秋代	薬・パート	3	要介護者有り	×	×	×	×
三好	春美	事・常勤	1		×	0	0	0

## 様式Ⅲ (通常・応急)業務の把握と災害時の優先業務

			優先	業務
		業務内容 ( ) は業務番号	該当性	(順位)
		(1)処方せんの受付、入力	0	
		(2)処方せん監査・疑義照会	0	
	調	(3)薬袋	0	
		(4)計数調剤	0	
	剤	(5)散剤計量調剤	0	
		(6)内用液剤調剤	0	
	業	(7) 外用薬調剤(軟膏剤、湿布剤、消毒薬等)	0	
		(8)調剤監査	0	
	務	(9) 医薬品情報発行	0	
通		(10)服薬指導	0	
常		(11)医薬品交付	0	
業		(12) 会計	0	
務		(13)調剤報酬請求	0	
		(1) 一般用医薬品の販売	0	
	そ	(2) 医薬部外品、衛生材料の販売	0	
		(3)食品、日用雑貨の販売	0	
	の	(4) 在宅患者訪問薬剤管理指導	0	
		(5)学校薬剤師	Δ	
	他			
応	<営業	時に発災>・お客(患者)様の避難誘導		
急	<共通	事項>・従業員の安否、状況確認		
業		・店舗の状況確認		
務		・通常処方せんを応需している医療機関、薬剤師	会等の	
		関係機関への連絡		

## <注意事項>

該当性の欄;該当する業務に○。優先度合いによって、◎○△を活用するなども良。

#### 様式IV 優先業務ごとの評価と対策の整理記載例(「処方箋鑑査・疑義照会」の場合)

業	務番号	(2)	業務名	処方箋鑑査・疑義照会
---	-----	-----	-----	------------

#### 【業務資源とリスク評価】 下線・太字は必要不可欠な業務資源

	業務	資源	想定される被害状況	実施する予防策	予防策を踏まえた使用可否
	ヒト	薬剤師	公共交通機関の停止による参集不可	近隣居住者のパート採用	×
			道路の寸断、交通規制による参集不可	店舗への徒歩参集ルートの確認	
	常備品		-	-	<del>-</del>
	※薬局が日常的に	_			
モノ	保有しているもの				
	外部調達品		-	-	-
	※外部からの定期的な	: -			
	供給が必要なもの				
	情報	処方箋	処方箋記載必須項目の記載もれ	災害時に最低限記載する必要がある項目を医療機関と確認	×
	ライフライン	電気	停電	-	×
			照明の停止		
		電話	使用困難	-	×

# 様式 V 業務継続目標とその対策 (「処方箋鑑査・疑義照会」の場合) 【業務継続目標】

発災	発災後経過時間 6時間		24時間(1日)	72時間(3日)	1週間	事前対策
目標とす	るサービスレベル	Δ	Δ	Δ	0	-
		薬剤師1名で対応	薬剤師2名で対応	(同左)	-	緊急参集する薬剤師の指定
業務を継続	サービス提供方法・					疑義照会を省略できる項目を医療機関と取り決める
するための	手段の変更	医療機関訪問による対面での疑義照	(同左)	電話による疑義照会	_	(例 処方箋記載の医薬品が欠品の場合に備
方策・代替		슾				えて、疑義照会なしで変更可能な同種同効医薬品の
手段						リストを整備するなど)。
	サービス内容				_	災害時の開局時間に関する方針の検討と医療機関へ
	(量・質)の変更	開局時間の短縮(10~13時)	(同左)	(同左)		の周知

※サービスレベル 〇:通常対応可 Δ:部分対応可 ×:対応困難

#### 様式IV 優先業務ごとの評価と対策の整理記載例(「薬袋・(医薬品情報発行)」の場合)

業務番号	(3)	業務名	薬袋・ (医薬品情報発行)
------	-----	-----	---------------

【業務資源とリスク評価】 下線・太字は必要不可欠な業務資源

業務資源		想定される被害状況	実施する予防策	予防策を踏まえた使用可否
ヒト	事務員	公共交通機関の停止による参集不可	近隣居住者のパート採用	×
		道路の寸断、交通規制による参集不可	店舗への徒歩参集ルートの確認	
	レセプトコンピュータ	他機材の落下による故障	周辺他機材の固定	×
常備品		停電による停止		
※薬局が日常的に	薬袋発行用プリンタ	他機材の落下による故障	周辺他機材の固定	×
保有しているもの		停電による停止		
	医薬品情報提供文書印	他機材の落下による故障	周辺他機材の固定	×
<i>,</i>	刷用プリンタ	停電による停止		
外部調達品	薬袋	揺れによる散乱	保管場所の固定	×
供給が必要なもの	医薬品情報提供文書用	揺れによる散乱	保管場所の固定	×
	紙			
情報	処方箋	(業務番号(2)で検討)	(業務番号(2)で検討)	(業務番号(2)で検討)
ライフライン	電気	停電	-	×
		照明の停止		

## 様式V業務継続目標とその対策(「薬袋・医薬品情報発行」の場合) 【業務継続目標】

発災	後経過時間	6時間	2 4 時間(1 日)	7 2 時間(3日)	1週間	事前対策
目標とす	るサービスレベル	Δ	Δ	Δ	0	-
		薬剤師1名で対応	薬剤師2名で対応	(同左)	_	緊急参集する薬剤師の指定
		手書きによる薬袋作成	(同左)	(同左)	_	薬局の名称、 薬局又は薬剤師の連絡先等を印刷した
	サービス提供方法・					手書き用薬袋の常備
業務を継続	手段の変更	注意事項の印字スタンプの利用	(同左)	(同左)	_	調剤頻度の高い医薬品に関する、 使用上の注意事項
するため替						の印字スタンプの常備
手段		手書きによる医薬品情報提供文書の	(同左)	(同左)	_	医薬品情報提供文書雛形の常備
		作成				
		医薬品情報提供文書記載内容の簡略	(同左)	(同左)	_	最低限必要な項目の選定
	サービス内容	化				
	(量・質)の変更	開局時間の短縮(10~13時)	(同左)	(同左)	_	災害時の開局時間に関する方針の検討と医療機関へ

※サービスレベル 〇:通常対応可 Δ:部分対応可 ×:対応困難

#### 様式IV 優先業務ごとの評価と対策の整理記載例(「計数調剤(錠剤、カプセル剤)」の場合)

【業務資源とリスク評価】 下線・太字は必要不可欠な業務資源

業系	<b>务資源</b>	想定される被害状況	実施する予防策	予防策を踏まえた使用可否
ヒト	薬剤師	公共交通機関の停止による参集不可	近隣居住者のパート採用	×
		道路の寸断、交通規制による参集不可	店舗への徒歩参集ルートの確認	
常備品	はさみ	揺れによる散乱	保管場所の固定	0
※薬局が日常的に				
ノ 保有しているもの				
		調剤棚の倒壊による錠剤・カプセル剤の散乱、損失	調剤棚の固定	Δ
外部調達品	錠剤、カプセル剤	卸売業者の倉庫被災による供給停止	最低3日分の錠剤、カプセル剤の常備	
供給が必要なもの		道路の寸断、 交通規制による供給停止		
	輪ゴム	揺れによる散乱	保管場所の固定	Δ
			最低3日分の常備	
情報	処方箋	(業務番号(2)で検討)	(業務番号(2)で検討)	(業務番号(2)で検討)
ライフライン	電気	停電	_	×
		照明の停止	•	

## 様式 V 業務継続目標とその対策 (「計数調剤 (錠剤、カプセル剤)」の場合) 【業務継続目標】

発災後経過時間		6時間	24時間(1日)	72時間(3日)	1週間	事前対策
目標とするサービスレベル		Δ	Δ		0	-
	サービス提供方法・	薬剤師1名で対応	薬剤師2名で対応	(同左)	_	緊急参集する薬剤師の指定
業務を継続す	手段の変更	保管庫でのヘッドライトの利用	(同左)	(同左)	-	ヘッドライトの購入
るための						
方策・代替		開局時間の短縮(10~13時)	(同左)	(同左)	-	災害時の開局時間に関する方針の検討と医療機関への周知
手段	サービス内容					
	(量・質)の変更					
		調剤日数の短縮(2日分)	(同左)	(同左)	-	災害時の調剤日数に関する医療機関との取り決め

※サービスレベル 〇:通常対応可 Δ:部分対応可 ×:対応困難